

堂に於て學術講演会を開催したり当日は碧天拭ふ如く好春日和なりしかは来聴者頗る多く婦人記者なども見えて流石の大講堂も溢るるはかりの盛況を呈したり定刻となるや中央大学講師稲田周之助氏は人種問題の基礎的研究に付て約一時間に亘り熱心周到なる講演を試みて喝采を博し理学博士田中館愛橘氏は国語及国字と題して縷縷論せられたる後先生得意の航空機関に付て各種の図面を掲げ円転滑脱に興味多き説明をなして大に聴衆の感興を惹き文学博士建部遯吾氏は世界の将来に関する実理的予見と題して卓励風発の弁を振はれしか時恰も黄昏燦然たる電光と相對して実に一場の偉觀なりき尚ほ当日は岡野博士伊藤理事佐藤幹事等も出席して熱心に傾聴せられたるか其閉会したるは午後六時なりき

## 388 中央大学講演会

〔『法学新報』第25卷3(284)号 大正4年3月3日〕

○中央大学講演会 去る二月二十一日午後一時より中央大学講